

裁判員制度

10周年



開催

報告

特別広報イベント

5月19日（日）に、札幌高地裁庁舎において、裁判員制度10周年特別広報イベントを開催しました。イベント前半は「法曹三者及び裁判員経験者等によるパネルディスカッション」を、後半は「模擬裁判員裁判体験会・見学会」をそれぞれ実施しました。



パネルディスカッションの様子(805号法廷)

前半のパネルディスカッションでは、パネリストの皆さんが、テーマに応じて、裁判員裁判の印象や感想、今後に向けた課題などを意見交換し、見学の方々も時折うなずいていました。

特に、裁判員経験者と補充裁判員経験者のお二方のお話は、見学された方々の印象に残ったようです。また、ディスカッションの合間に大平まゆみさんによるヴァイオリン演奏もあり、和やかなムードで進行していきました。

次ページにつづく



模擬評議の様子(Aグループ)



模擬評議の様子(Bグループ)



模擬評議の様子(Cグループ)



判決宣告の様子

ご来場いただき、
誠にありがとうございました！

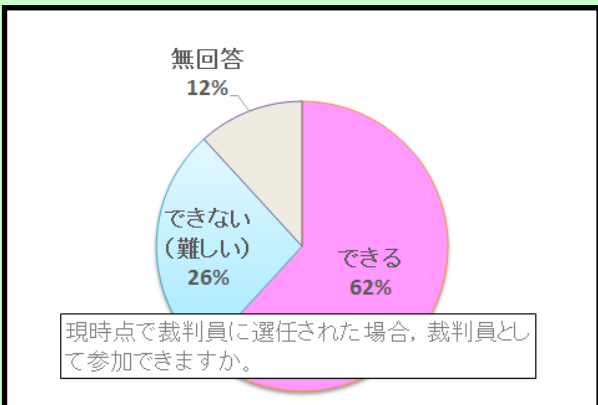
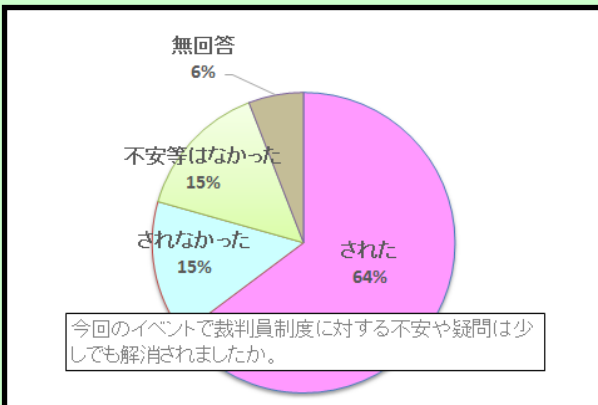
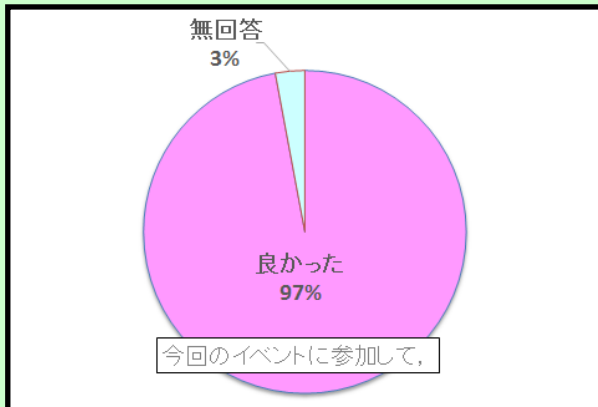


後半の「模擬裁判員裁判体験会・見学会」では、3グループに分かれて模擬裁判、模擬評議、判決宣告を体験・見学していただきました。評議から判決を導いていく本番さながらの流れを、実際に肌で感じたことによって、裁判員裁判への不安や疑問が取り除かれたのではないのでしょうか。

札幌地裁では、今後も安心して裁判員裁判にご参加いただけるよう努めてまいります。選ばれた際には、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【次ページのアンケート結果等もぜひご覧ください。】

① アンケート結果集計グラフ



<パネルディスカッションの感想>

「とてもおもしろかった。話の内容もわかりやすく、理解が深まりました。」、「自分が不安に思っていたことと同じ気持ちだとわかった」、「裁判員等経験者2名の率直な意見がとても良かった」

<模擬裁判員裁判体験会・見学会の感想>

「良い経験ができた」、「実際に制度に参加する気持ちに不安がなくなった」、「評議では、これまでの人生背景が違う中で色々な意見があり、考えさせられました」、「体験会に申し込まなければ良かったと後悔していたが、参加してみて良かった」

などの感想をいただきました。ありがとうございました。

② 模擬裁判員裁判グループ別評議結果(※)

Aグループ：懲役3年 執行猶予5年
Bグループ：懲役3年 執行猶予5年
Cグループ：懲役3年 執行猶予3年

※ 模擬裁判員裁判(妻が、殺意をもって、包丁で、夫の背中を突き刺したが、刺し傷を負わせたにとどまった事案(殺人未遂被告事件))をグループ別模擬評議で討議した結果です。実際の裁判や判決とは全く関係ありません。

なお、上の結果とは別に、模擬裁判員裁判や模擬評議を体験・見学をされた方が、最後にどういう量刑であると思ったのかを、任意で投票いただきました。その結果は札幌高等裁判所のウェブサイトに掲載されています。

◀ 札幌高等裁判所: <http://www.courts.go.jp/sapporo-h/index.html> ▶